

そばの栽培では、圃場の排水対策と 適期播種が、安定生産の決め手です!!

1. 排水対策

◎そばは、播種後の湿害に大変弱い作物です(表1) 表1 湛水処理時間・時期別の発芽率

- ・事前に、圃場の周囲に深さ30～40cmの明きよを掘る等の排水対策を実施しましょう。
- ・降雨後1日以内に、圃場表面の停滞水が排水されるように、播種後、管理機等で圃場に浅い溝を掘り明渠に接続しましょう。
- ※ 1日以上 の湛水状態が続くと極端に発芽率が低下しますので要注意!!

処 理	発芽率(%)
播種直後6時間湛水	42
播種直後1日間湛水	36
播種直後3日間湛水	6
播種1日後1日間湛水	26
播種1日後3日間湛水	0
播種3日後1日間湛水	2
無湛水	94

※中信農試、昭和55年農業および園芸第58巻1号198より

2. 播種時期と播種量

- ・そばの播種の適期は、平坦部では8月上旬、中山間部では7月下旬～8月上旬、山間部では7月下旬です(表2)。
- ・そばを栽培する予定の圃場に雑草が繁茂している場合は、天候を見ながら、7月上旬頃までに1度耕うんしておきましょう(雑草対策、斑点米カメムシ類等の駆除対策のため)。
- ・播種量は、約100本/m²の苗立ちを目標とし、10a当たり条播(条間:30cm程度)で4～5kg、散播で5～7kgとしましょう。
- ・「でわかおり」を栽培する場合は、種子が大きいいため、播種量を2割程度多くしましょう。

表2 開花・結実期(開花前9日～開花後20日)の結実・登熟に適する気象要素から見た開花期および播種晩限(目安)

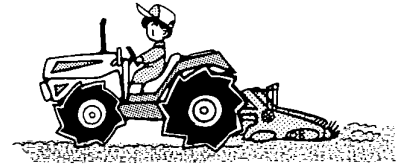
地 点	気象要素から見た開花期晩限			播種晩限 (開花期の 25日前)
	平均気温 21℃以上	最高気温 25℃以上	最低気温 17℃以上	
村山市楯岡	9月2日	9月4日	9月2日	8月8日
尾花沢市尾花沢	8月29日	9月1日	8月24日	8月4日

※1 アメダス準平年値で試算

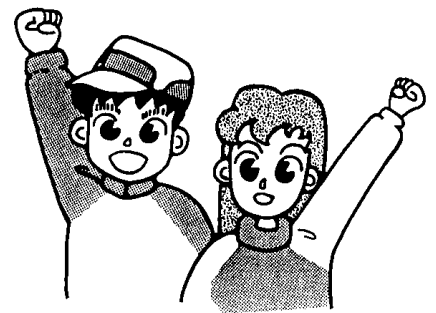
※2 播種25日後を開花期と想定し、播種晩限を試算

3. 耕起と施肥

- 耕起は、碎土率70% (2cm以下の土塊の割合) を目標とし、丁寧に行いましょう。
- 施肥量は、窒素 2~4 kg/10a、リン酸 6~9 kg、加里 6~9 kgを目安としましょう。
- 連作圃場等で生育量の少ないところは、リン酸、加里の施用量を増しましょう。
- 生育の極端に悪い圃場では、土壌の pH が低下 (pH5 未満) している可能性があります。その場合は、状況に合わせて炭酸カルシウムや石灰窒素を施用して矯正しましょう (そばの好適な pH は 5~6)。
- スイカ等の野菜の後作では、過剰な生育を防ぐため、リン酸、加里だけの施用としましょう (過剰な生育は、倒伏や結実不良の原因となります)。
- 刈り取り作業を委託する方は、播種前に受託組織とおおよその刈り取り作業の日程を打ち合わせて、播種日を調整してください (適期刈り取りを計画的に実施するため)。

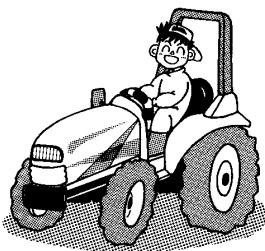


☆ 北村山から「おいしいそば」を
消費者へ届けましょう！ ☆



★熱中症対策・農作業安全に注意！

- ◆ 作業中は、こまめに休憩をとり、失われた水分や塩分を補給しましょう！



- ◆ トラクターの運転は慎重に！
農作業事故を防止しましょう！